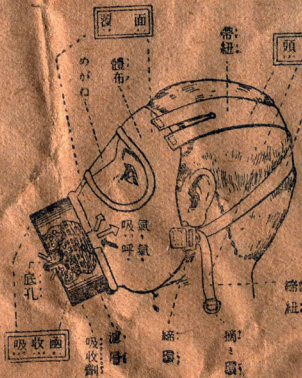


十七年式防毒面ノ取扱ニ就テ

内務省防空局
財団法人 大日本防空協會

コノ防毒面ノ配給ヲ受ケタ方ハ、スベテ取扱ヲ丁寧ニシ、次ニ書イテアルコトヨク讀ンデ防毒面ノ正シイ装着法ニ習熟スルト共ニ日頃ノ手入れ、保存法ヲ正シク實行シ有事ノ際ニハ立派ニ役立テテイタダキタイノデアアル。

一、構造、名稱
及ビ性能



- (1) コノ防毒面ハ、空襲ノ際豫想セラレル毒瓦斯ノ濃サノ中濃ヲ織使用シテ五時間以上効果ガアル。
- (2) 毒瓦斯ノ存在シナイ所デ使用シタ場合ハ、吸収筒ノ壽命ニハ大シク影響ハナイ。
- (3) 工場、鑛山等デ發生スル特殊ノ有毒瓦斯ニ對シテハ效果ハナシ。

三、手入れ保存法

防毒面ハ、手入れヲ怠ツタリ、保存ノ方法ガ適當デナイト傷ミ易イカラ、使用後ニ手入れスルハモチロン、平常モ時々取り出シテ、手入れヲ行ヒ、正シイ保存法ヲ守ルコトガ必要デアアル。

(イ) 手入れ

- (1) 防毒面及携帶袋ノ内外ニ附着シタ塵埃ヤ、泥土ハ、布又ハ刷毛デ除ク、但シ「めがね」ハ疵ガツキ易イカラ乾イタ軟イ布デ丁寧ニ表裏ヲ拭フ。
- (2) 使用後ハ覆面ノ内部ヲ、堅ク絞ツタ濡レ手拭デ拭キ清メ陰乾シニスル。多量ノ水分ヤ、汗唾等ガ覆面内ニ溜ツタ場合ハ、吸収筒ノ中ニ流レ込マヌ様ニシテ拭キ取り、後ハ陰乾シニスル。
- (3) 覆面ヲ殺菌消毒スル必要ガアル場合ハ、少量ノ「ホルコール」七〇—六〇%ヲ浸シタ布デ、手早ク拭

(ロ) 保存

- ヒ陰乾シニスル。(アルコールヲ多量ニ使用スルト防毒面ヲ傷メル)
- (1) 吸収筒ノ上下ノ孔ニ蓋ヲ施シ(蓋ノナイトキハ紙デ目貼リヲスレバヨイ) 覆面ヲ折り曲ゲナイデ吸収筒ヲ下ニシテ携帶袋ニ納メル。
 - (2) 保存ノ場所ハ、日光ノ直射シナイ乾燥シタ場所ガヨイ、濕氣ノ多い場所ヤ、火氣ノ近い場所ハイケナイ。

二、装着法

防毒面ハ何時如何ナル場合ニモ、迅速ニ且ツ確實ニ装着シ得ル様ニ日頃カラノ訓練ガ必要デアル。

(イ) 携帶方法 (携帶袋ハ本防毒面ノ容器ヲ利用スルカ又ハ適當ニ作ルコト)

- (1) 防毒面ヲ携帶スル場合ハ、携帶袋ニ入レ、袋ノ負紐ヲ右肩カラ左腋下ニ懸ケテ吊ル。
 - (2) 防毒面ヲ携帶袋ニ入レルニハ、覆面ノ内部ニ頭紐ヲ收メ、兩側面ヲ輕ク内方ニ折り曲ゲ吸收函ヲ下ニスル。
 - (3) 防毒面使用ノ場合ハ、アラカジメ吸收函ノ上下ノ蓋ヲ取りハツシ締紐ヲ十分ニ緩メテ置ク。
- (ロ) 破リ方
- (1) 眼鏡ヲ懸ケテキル人ハ眼鏡ヲハツシ帽子、鉢巻、煙冠ハコレヲ取ル。
 - (2) 兩手デ携帶袋ヲ前ニ持ツテ來テ、袋ノ口ヲ開キ、左手デ袋ノ底ヲツカミ、右手デ防毒面ヲ取り出ス。



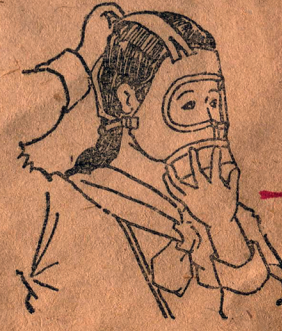
(3) 兩手デ覆面ノ内面ヲ開キ、拇指ヲ内側ニ四指ガ外側ニナル様ニ左右ノ帶紐ヲ握リ、呼吸ヲ止メ眼ヲツブリ顎ヲ前ニ突き出ス。



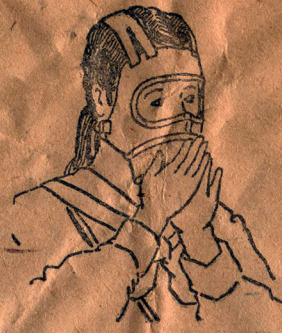
(4) 突き出シタ顎ヲ覆面ノ頸部ニ淺ク入レ之ヲ支點トシテ頭紐ヲ頭ニ被ル様ニ後方ニ持ツテユキ概テ頭紐ノ交叉部ガつむじル邊ニ來ル様ニス。



(5) 右手デ頭紐ノ交叉部ヲ後頭部ニ當テガヒ左手デ吸收函ヲ支ヘ覆面ヲ顔ニ合ハセ

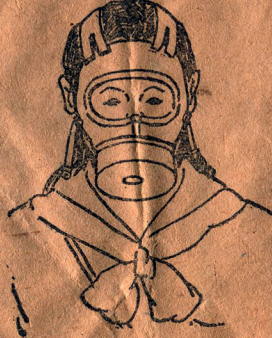


(6) 吸收函ヲ支ヘタ手ヲソノママトシ、後頭部ニ當テガツタ手ヲ離シテ一方ノ締紐ヲ摘ミ環ヲ握リ、締紐ヲ後ニ引キ次ニ手ヲ持チ代ヘテ、他方ノ締紐ヲ同様ニ締め付ケル。



(7) ココデ初メテ、息ヲヤヤ強クハキ出シ、眼ヲ開キ覆面ヲ正シイ位置ニ直ス。

(8) 右ノ掌デ吸收函ノ底孔ヲ塞ギ、稍々強ク息ヲ吸ツテ外氣ガ覆面ノ周圍カラ漏レテハイルカドウカラテス。(氣密試験)



(9) 携帶袋ノ口ヲ閉ヂ左腋下ノ元ノ位置ニ戻ス。

(ハ) 脱キ方

- (1) 兩手デ左右ノ締環ヲ前方ニ起シテ、前方ニ引キ締紐ヲ十分ニ緩メル。
- (2) 右手デ吸收函ヲ握リ、左手ヲ頭上ノ頭紐ニ當テ、顎カラハツシテ前方ニ脱ケ